

若者時給 1659円必要

岐阜県労連が生計費調査

岐阜県労連は28日、岐阜市で若者が1人暮らしするには、男性で時給1652円、女性で1659円が必要だとする最低生計費資産調査の結果を発表しました。隣県・愛知県労連の名古屋市調査（2015年）から、140円、月額2万円以上の上昇となっており、物価高騰の影響が浮き彫りになっていま

調査は21年12月～22年6月に1046人分（若年単身38人）の調査票を集め、22年10月時点の物価高騰を加味。岐阜大学の学生も調査に参加しました。岐阜市の25歳1人暮らしを想定。ワンルーム家賃3万8000円、75万円の中古軽自動車

通勤、家電は市内量販店で最低価格帯を購入し、最低価格帯を積み上げ、月額で男性24万7759円、女性24万8778円、労働者の所定時間程度の月150時間労働で時給換算しました。

内量販店で最低価格帯を購入し、最低価格帯を積み上げ、月額で男性24万7759円、女性24万8778円、労働者の所定時間程度の月150時間労働で時給換算しました。

会見する古池氏（左から2人目）ら28日、岐阜市



会見で、古池まさ美県労連副議長は、「岐阜市の最低賃金は910円。近隣の愛知986円、三重933円より低く、労働人口流出の要因となっている」と述べました。

調査を監修した中澤秀一静岡国立短大准教授は、「物価高騰で生計費は上がっている。公共交通の発達した名古屋と比較し、岐阜では自家用車が必要だが、中古車価格も上がっている」と指摘。柴田努岐阜大准教授は、「岐阜市の物価は昨年12月で4・2%上がり、今後も値上げは続く」と述べ、生活でできる賃上げ、最賃全国一律1500円の実現の重要性を強調しました。

岐阜市の25歳1人暮らしの最低生計費（時給）

	男性	女性
岐阜市	1652円	1659円
名古屋市(2015年)	1513円	1514円